

中高生・若者が集う居場所づくり事業

経 緯

○R6.12.16に開催した青梅総合高校と市長・教育長との意見交換会において、高校生から「勉強場所が少ない」、「遅くまで使える場所がない。」、「教え合いの場がない。」との意見があった。

○令和7年度開始の「青梅市こども計画」において、重点事業では「こどもの意見聴取・意見表明機会の充実」として、こども会議・若者会議の設置などに取り組むこととしている。
また、計画内のチャレンジ事業において、「こども・中高生の居場所づくり」、「若者が気軽に利用できる居場所の整備」を設定している。

事業目的

○中高生・若者が利用できる居場所を創設する。

⇒こどもたちの意見を反映

○意見の表明や協議をする空間として醸成を図る。

⇒こども会議・若者会議の核となるこどもたちを期待

こども計画の基本方針「こどもがまんなかのまちづくり」に則し、こどもの声を市政に反映させると同時に、将来を担う大人への成長を促す機会とする。

事業内容（検討中）

○市役所2階行政コーナー、喫茶コーナーを改修し、

平日夜間および土日昼間に、中高生・若者が集う居場所を整備する。

○個人勉強、語らい・交流、共同作業など、自由に利用できる。

○悩みを相談できるチャットサイトのQRコードを卓上配布する。